

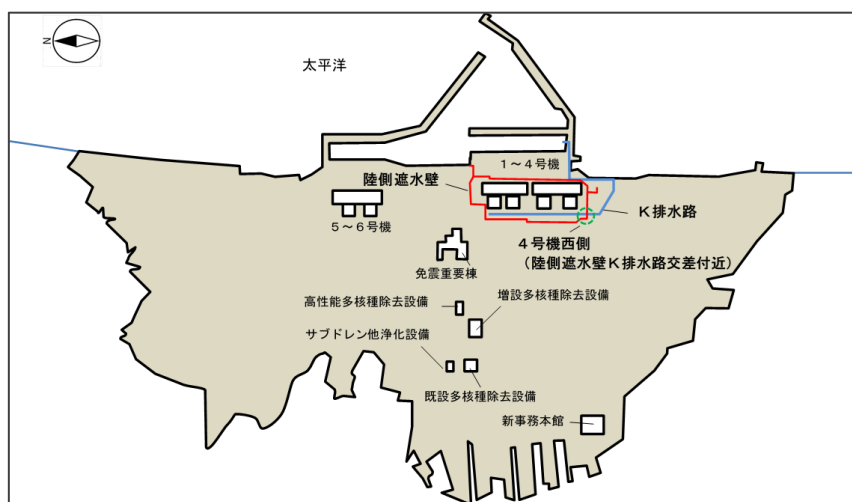
## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日  
令和4年1月11日（火）
- 2 確認箇所  
4号機西側（陸側遮水壁K排水路交差付近）
- 3 確認項目  
陸側遮水壁測温管の温度上昇の対応状況
- 4 確認結果の概要

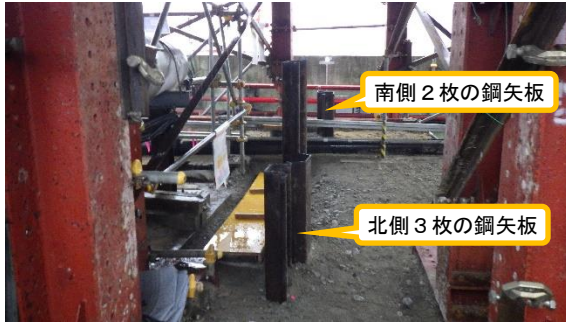
1～4号機建屋周囲に設けられている陸側遮水壁（凍土壁）（以下「遮水壁」という。）の一部（K排水路交差付近）において地中温度が0℃を超える状態が継続する事象（10月28日東京電力公表）が発生した。

東京電力では、K排水路の底部に湧水が確認されたことを踏まえ、地下水がK排水路に流入する過程において凍土壁の一部が融解している影響により、地中温度が上昇している可能性があるとした。それを受けて、12月13日までに地下水の流入を抑制するため上流側に鋼管を設置した。しかし、その後もK排水路の湧水量等に明らかな変化が見られないことから、効果を高めるため12月17日から鋼矢板の設置が開始されたことから進捗状況を確認した。（前回現場確認：[令和3年12月20日](#)）（図1）

- ・設置が計画されている鋼矢板9枚中5枚目までの設置が行われていたが、現場確認時には作業が実施されていなかった。（写真1）
- ・東京電力によると、鋼矢板3枚目の施工時に硬い土砂に当たったことから施工機械の変更が必要となったため、施工機械を手配中とのことである。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1 - 1)  
鋼矢板設置箇所  
の状況  
(北側から撮影)



(写真 1 - 2)  
北側の鋼矢板の設置状況  
(鋼矢板 3 枚が設置されている。)



(写真 1 - 3)  
南側の鋼矢板の設置状況  
(鋼矢板 2 枚が設置されている。)

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。